

事務連絡
令和2年2月28日

各都道府県・指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校主管部課
附属学校を置く各国公立大学法人附属学校事務主管課 御中
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を
受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課

文部科学省初等中等教育局教育課程課

新型コロナウイルス感染症対策のための小学校、中学校、高等学校
及び特別支援学校等における臨時休業に伴う教育課程関係の
参考情報について（2月28日時点）

新型コロナウイルス感染症への対応については、令和2年2月28日付け文部科学事務次官通知「新型コロナウイルス感染症対策のための小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における一斉臨時休業について」（別添参考資料）において、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における臨時休業等について通知したところですが、このことに伴う検討に資するよう、下記のとおり教育課程関係で参考となる情報についてまとめましたので、お送りいたします。

なお、これらの情報については、令和2年2月28日時点のものであり、今後の状況に鑑み更新の可能性もあり得る旨、申し添えます。

各都道府県教育委員会におかれては、このことを所管の学校及び域内の市区町村教育委員会に対し、各指定都市教育委員会におかれては、所管の学校に対し、各都道府県私立学校主管部課及び構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課におかれては、所轄の学校に対し、附属学校を置く各国公立大学法人附属学校事務主管課におかれては、所管の附属学校に対し、本事務連絡の趣旨について御周知いただくようお願いいたします。

記

1. 新型コロナウイルス感染症対策のための小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における臨時休業に伴う教育課程に関するQ&Aについて

今般の臨時休業に伴い、授業時数の扱い、各学年の課程の修了や卒業の認定など、教育課程関係のQ&Aをまとめました。【別紙1】

各設置者及び学校におかれては、必要に応じて参考にさせていただきますようお願いいたします。

2. 臨時休業期間における各教科等の家庭学習の工夫について

臨時休業期間においては、児童生徒が授業を十分受けることができないことによって、学習に著しい遅れが生じることのないよう、各設置者及び学校において、学校及び児童生徒の実態等を踏まえ、可能な限り、家庭学習を適切に課す等の必要な措置を講じるようお願いいたします。例えば、家庭学習に有益適切である教科書の活用をはじめとする家庭学習の在り方について検討し、児童生徒及び保護者等に提示するなどして、児童生徒が宿題や予習・復習などの家庭学習を行うことができるよう、対応を検討、工夫いただきますようお願いいたします。特別支援学校等においても、障害のある児童生徒の教育課程に応じて、対応を検討、工夫いただきますようお願いいたします。

なお、各設置者及び学校における検討の参考までに、臨時休業期間における各教科等の家庭学習の工夫及び教材例についてお示しします。【別紙2】

また、家庭学習を行う際にインターネット等のICTを活用することも考えられますが、情報モラルの観点についてご留意いただくようお願いいたします。また、家庭学習以外にも児童生徒がインターネット等の情報に多く触れることが考えられるため、児童生徒の実態に応じて、参考2を活用するなどして、改めて情報モラルの必要性等について周知することも検討いただくようお願いいたします。

以上

(参考1) 文部科学省ホームページ「新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について」

https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/index.html

(参考2) 文部科学省ホームページ「ちょっと待って！スマホ時代のキミたちへ～スマホやネットばかりになっていない？～2020年版」

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1369617.htm

<本件連絡先>

(事務連絡全般について)

文部科学省初等中等教育局教育課程課
教育課程企画室

TEL : 03-5253-4111

(内線 : 2367)

(2のうち情報モラルについて)

文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課
情報教育振興室

TEL : 03-5253-4111

(内線 : 2702)

令和2年2月28日時点

新型コロナウイルス感染症対策のための小学校、中学校、高等学校及び
特別支援学校等における臨時休業に伴う教育課程に関するQ&A

Q1 臨時休業に伴い、今年度中に実施できる授業時数が標準授業時数を下回ってしまうことが見込まれるが、どうすればよいか。

A

1. 新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業を行った場合において、学校教育法施行規則等に定める標準授業時数を下回った場合においても、下回ったことのみをもって学校教育法施行規則に反するものとはされません。
2. その場合には、
 - ・児童生徒の学習に著しい遅れが生じることのないよう、可能な限り、臨時休業期間中において家庭学習を適切に課したり、臨時休業終了後には補充のための授業や補習を行ったりするなど配慮すること
 - ・児童生徒の各学年の課程の修了又は卒業の認定等に当たっては、弾力的に対処し、その進級、進学等に不利益が生じないように配慮することなどに留意いただくようお願いいたします。

Q2 実施した授業時数が標準授業時数を下回っていても、各学年の課程の修了や卒業を認定してもよいのか。

A

1. Q1で述べたとおり、新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業を行った場合において、学校教育法施行規則等に定める標準授業時数を下回った場合においても、下回ったことのみをもって学校教育法施行規則に反するものとはされません。
2. 各学年の課程の修了又は卒業の認定は、児童生徒の平素の成績を評価して行うこととなっており、総合的に判断いただくものです。
3. 児童生徒の各学年の課程の修了又は卒業の認定に当たっては、弾力的に対処し、その進級、進学等に不利益が生じないように配慮いただくようお願いいたします。

Q 3 卒業を迎える学年の児童生徒に、3月末までに指導すべき内容の指導を行うことができなかった場合においても、当該児童生徒の卒業を認定しても問題はないのか。

A

1. 卒業の認定に当たっては、児童生徒の平素の成績を評価して行うこととなっています。
2. 今般の臨時休業に伴い、卒業を迎える学年の児童生徒が授業を十分受けることができなかった場合であっても、児童生徒の卒業の認定に当たっては、弾力的に対処し、その進学等に不利益が生じないように配慮いただくようお願いいたします。

Q 4 卒業を迎える学年の児童生徒に、3月末までに指導すべき内容の指導を行うことができなかった場合、どのような対応が考えられるか。

A

1. 今般の臨時休業に伴い、卒業を迎える学年の児童生徒が授業を十分受けることができなかった場合には、必要に応じ、進学先の学校に当該児童生徒の学習状況を共有いただくようお願いいたします。
2. また、進学先の学校においては、共有された情報を踏まえて必要に応じて補足的な学習などの個に応じた指導を行う等の配慮が考えられます。
3. なお、臨時休業期間における各教科等の家庭学習の工夫及び教材例については、別紙2を参照してください。

Q 5 卒業を迎える学年以外の児童生徒に、3月末までに指導すべき内容の指導を行うことができなかった場合に、次学年の授業時数の中で、前学年の未指導分の授業を行うことは可能か。

A

1. 今般の臨時休業に伴い、卒業を迎える学年以外の児童生徒が授業を十分受けることができなかった場合には、児童生徒の学習に著しい遅れが生じることのないよう、必要に応じて、次年度に補充のための授業として前学年の未指導分の授業を行うことも考えられます。
2. その場合において、標準授業時数を超えて授業時数を確保する必要は必ずしもなく、各学校において弾力的に対処いただくことが可能です。

Q 6 臨時休業期間において、指導要録の「出欠の記録」にはどのように記載すればよいか。

A

1. 平成 22 年 5 月 11 日の通知「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について」に示す通り、学校保健安全法第 20 条に基づく臨時休業の措置を行った場合には、授業日数には含まないものとして記録を行うようにしてください。

Q 7 臨時休業期間中に実施した家庭学習の内容を学年末の学習評価に反映してよいか。

A

1. 学習評価を行うに当たっては、日々の授業の中で児童生徒の学習状況を適宜把握し、総合的に判断することが重要であり、臨時休業期間中の家庭学習の成果を適切に加味することは考えられます。

Q 8 通知表については、渡すのが 4 月以降になってしまってもかまわないか。

A

1. そもそも通知表は法令上の作成義務はなく、実態として各学校で作成しているものです。
2. このため、通知表の作成・交付を今年度中に行う義務はなく、児童生徒や保護者等に渡すのが 4 月以降になっても問題ありません。

Q 9 卒業式を中止した場合に、教育課程上はどのように補えばよいか。

A

1. 一般的に、卒業式は、学習指導要領の特別活動に定める「儀式的行事」の一環として実施されているものと承知しています。
2. 学習指導要領上、この「儀式的行事」は、
 - ・学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること
 - ・小・中学校においては、いずれの学年においても実施することを求めています、その具体的な内容については定めておりません。
3. このため、例えば、始業式や終業式等の他の儀式的行事を学習指導要領の趣旨に沿って既に行っている場合には、臨時休業等のやむを得ない事情により卒業式を行わなかったとしても、学習指導要領の定めには反するものではありません。

Q 10 卒業式を中止した場合に、卒業証書の授与についてはどうすればよいか。

A

1. 学校教育法施行規則の規定に基づき、各学校の校長は、全課程を修了したと認めた児童生徒には、卒業証書を授与することとされていますが、授与の具体的な方法については特段の定めはありません。
2. 従って、各学校において、状況に応じ適宜対応いただきたいと考えております。卒業する児童生徒が登校する機会がない場合などには、郵送で卒業証書を授与するといった方法も考えられます。

臨時休業期間における各教科等の家庭学習の工夫及び教材例
(小学校)

【国語】

- 教科書に掲載されている教材を基本とし、例えば、教科書にある作品などを再読して感想を書いたり、教科書などにある語句の意味を調べたり漢字を練習したり、日常生活の中で関心のある事柄について意見文を書いたりする。
- このほか、例えば本や新聞、雑誌、各自治体が作成している教材や問題集、各学校で採用している補助教材の活用も考えられる。

【社会】

- 授業で学習した内容を教科書等で振り返り、さらに調べてみたいことなどについて教科書等で調べたり、ノートに書き加えたりする。また、教科書の今後学習する部分を読み、疑問に思ったことをノートにメモしたり、教科書等で調べたりする。
- このほか、各学校で採用している補助教材の活用も考えられる。

【算数】

- 児童の学習状況に応じて、教科書の復習問題や補充的な問題に取り組み、これまでの学習内容の習熟を図ったり、教科書の発展的な問題に取り組み、これまでの学習内容について理解を一層深めたりする。
- このほか、各学校で採用している補助教材の活用も考えられる。

【理科】

- 学習した内容や自分の学び方を教科書やノート等で振り返り、気付いたことや今後調べてみたいことをノート等にまとめるなどして、学習内容についての理解を深めたり、新たな問題を見いだしたりする。

【生活】

- 生活科の授業で学んだことを生かして、家の中にある身近な物を使って遊びをつくり出すなど、生活科の内容に即した学習を家庭で行ってみる。

【音楽】

- 教科書に掲載されている教材曲について、どのように歌ったり演奏したりするかを考え、家庭でできる範囲において実際に歌ったり、楽器で演奏したりする。

- 授業で鑑賞した音楽について、その音楽のよさを見だし、自分なりに感じたことや理解したことをノートにまとめてみる。その音楽を聴くことができる環境がある場合は、鑑賞したりする。

【図画工作】

- 表現については、これまでに学習した題材や教科書に載っている題材を家庭でできる範囲において表現してみる。また、家庭にある材料を使って表現してみる。
- 鑑賞については、これまでにつくった自分の作品や教科書に載っている作品などを鑑賞し、造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げてみる。

【家庭】

- 授業で学習したこと（調理、生活に役立つ物の製作、掃除、整理・整頓、洗濯など）をもとに生活をよりよくする家庭実践を考え実践したり、レポートとしてまとめたりする。

【体育】

- 体育については、授業で学習した内容で、家庭でも安全に行うことができる運動を行ってみる。（例：体を伸ばしたりほぐしたりする手軽な運動、リズムに乗って体を動かす運動、縄跳びなど用具を用いた運動、腕立て伏臥腕屈伸など力強い動きを高める運動 など）
 - 多様な動きをつくる運動（遊び）パンフレット（文部科学省）
https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/_icsFiles/afieldfile/2009/12/28/1247477_3.pdf
https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/_icsFiles/afieldfile/2009/12/28/1247477_4.pdf
- 保健については、教科書等を使って、授業で学習した内容を振り返ってみる。
 - わたしの健康（小学校5年生用）（文部科学省）
https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/08060506.htm

【特別の教科 道徳】

- 教科書や補助教材「私たちの道徳」を読んで、気付いたことや考えたことなどを記入したり、ノート等にまとめたりする。
 - 私たちの道徳（文部科学省）
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/index.htm

【外国語活動】

○We Can!テキストを参考に、ワークシートに文字を書いたり、語句を書き写したり、例文を参考に自分の考えや気持ちを書いたりする。

- 新学習指導要領に対応した小学校外国語教育新教材について（文部科学省）（サンプルとの表示あり。誰でも利用可能。）

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/123/houkoku/1382162.htm

- 小学校外国語・外国語活動 平成 30 年度使用新教材ダウンロード専用サイト（文部科学省）（IDとパスワードを付与された学校や教育委員会等のみが利用可能。）

<http://mext-next-kyozai.net/>

○えいごネット（英語教材等を掲載するポータルサイト）から、小・中・高等学校段階の、聞く・読む・話す・書くの各教材をダウンロードして活用を図る。

- えいごネット（（一財）英語教育協議会）

<http://www.eigo-net.jp/>

【総合的な学習の時間】

○学校で取り組んでいる課題を踏まえながら探究的な学習に取り組んだり、レポート等にまとめたりする。

【特別活動】

○毎日の生活や学習の目標や計画を立てて取り組み、規則正しい生活ができるようにする。

○家庭での役割について考え、自分が取り組むことを決めて実践する。

臨時休業期間における各教科等の家庭学習の工夫及び教材例
(中学校)

【国語】

- 教科書に掲載されている教材を基本とし、例えば、教科書にある作品などを再読して感想を書いたり、教科書などにある語句の意味を調べたり漢字を練習したり、日常生活の中で関心のある事柄について意見文を書いたりする。
- このほか、例えば本や新聞、雑誌、各自治体が作成している教材や問題集、各学校で採用している補助教材を教材として活用することも考えられる。

【社会】

- 授業で学習した内容を教科書等で振り返り、さらに調べてみたいことなどについて教科書等で調べたり、ノートに書き加えたりする。また、教科書の今後学習する部分を読み、疑問に思ったことをノートにメモしたり、教科書等で調べたりする。
- このほか、各学校で採用している補助教材の活用も考えられる。

【数学】

- 生徒の学習状況に応じて、教科書の復習問題や補充的な問題に取り組み、これまでの学習内容の習熟を図ったり、教科書の発展的な問題に取り組み、これまでの学習内容について理解を一層深めたりする。
- このほか、教科書以外に学校が配布する補助教材などの活用も考えられる。

【理科】

- 学習した内容や自分の学び方を教科書やノート等で振り返り、気付いたことや今後調べてみたいことをノート等にまとめるなどして、学習内容についての理解を深めたり、新たな問題を見いだしたりする。

【音楽】

- 授業で使用するために個人で購入した楽器がすでに家に持ち帰られており、音を出すことが可能な環境である場合は、任意の曲を選択し、授業での学びを生かして、自分なりに表現を工夫して演奏したり、演奏に対する感想をノートに書いたりする。
- 授業で鑑賞した音楽について、その音楽のよさや美しさなど、自分なりに感じたことや理解したことをノートにまとめたりする。その音楽を聴くことができる環境がある場合は、鑑賞したりする。また、自分のお気に入りの音楽について、その音楽のよさや美しさなどに触れながら、その音楽の推薦文を書いてみる。

【美術】

- 教科書に載っている題材を家庭でできる範囲において表現してみたり、身近な人物や動植物、ものなどをじかに見つめて、様々な視点から対象を捉えてスケッチを描いたりする。
- 教科書に載っている作品などを鑑賞し、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えたりしたことをまとめてみる。また、家庭内にある自然物やデザインなどの造形的な美しさなどを感じ取ったり、身の回りにある美術の働きについて考えたりしたことをまとめてみる。

【保健体育】

- 体育については、授業で学習した内容で、家庭でも安全に行うことができる運動を行ってみる（例：体を伸ばしたりほぐしたりする手軽な運動、リズムに乗って体を動かす運動、縄跳びなど用具を用いた運動、腕立て伏臥腕屈伸など力強い動きを高める運動 など）。また、オリンピック・パラリンピックを含め、スポーツの意義等について、教科書等を参考に考えたり、レポートにまとめたりする。
 - 「体づくり運動」リーフレット（文部科学省）
https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/_icsFiles/afieldfile/2011/08/22/1306082_03.pdf
https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/_icsFiles/afieldfile/2011/08/22/1306082_04.pdf
- 保健については、教科書等を使って、授業で学習した内容を振り返ってみる。
 - かけがえのない自分、かけがえのない健康（中学生用）（文部科学省）
https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/08111804.htm

【技術・家庭】

（技術分野）

- 教科書を使って学習を振り返り、今後どのような技術を開発したらよいか考えたりノート等にまとめたりする。
- 来年度の学習内容について具体的なものを取りあげ、それがなぜ社会で広く活用されているのかについて自分なりに考えたりノート等にまとめたりする。
- 家庭で活用されている、食器、家具、電気製品などを一つ選び、そこにどのような工夫がされているのかについて教科書等を参考に考えたり、ノート等にまとめたりする。

（家庭分野）

- 「生活の課題と実践」として、食生活、衣生活、住生活、消費生活・環境等の

中から自分でテーマを決め、計画、実践、評価、改善する家庭実践を行ったり、ノート等にまとめたりする。

【外国語】

○教科書や中学校外国語教材「Bridge」（文部科学省作成）を活用して、英語の文章を読んだり、その内容理解のための問を解いたりする。

➤ 中学校外国語教材「Bridge」（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1414459_00002.htm

○えいごネット（英語教材等を掲載するポータルサイト）から、小・中・高等学校段階の、聞く・読む・話す・書くの各教材をダウンロードして活用を図る。

➤ えいごネット（（一財）英語教育協議会）

<http://www.eigo-net.jp/>

【特別の教科 道徳】

○教科書や補助教材「私たちの道徳」を読んで、気付いたことや考えたことなどを記入したり、ノート等にまとめたりする。

➤ 私たちの道徳（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/index.htm

【総合的な学習の時間】

○学校で取り組んでいる課題を踏まえながら探究的な学習に取り組んだり、レポート等にまとめたりする。

【特別活動】

○自ら生活や学習の目標や計画を立て、節度ある生活を送り、自己管理を行うようにする。

○家庭での役割について考え、自ら取り組むことを決めて実践する。

臨時休業期間における各教科等の家庭学習の工夫及び教材例
(高等学校)

1. 共通教科・科目等

【国語】

- 教科書に掲載されている教材を基本とし、例えば、教科書にある作品などを再読して感想を書いたり、日常生活の中で関心のある事柄について意見文を書いたりする。
- このほか、例えば本や新聞、雑誌、各自治体が作成している教材や問題集、各学校で採用している補助教材を活用することも考えられる。

【地理歴史】

- 授業で学習した内容を教科書等で振り返り、さらに調べてみたいことなどについて教科書等で調べたり、ノートに書き加えたりする。また、教科書の今後学習する部分を読み、疑問に思ったことをノートにメモしたり、教科書等で調べたりする。
- このほか、各学校で採用している補助教材の活用も考えられる。

【公民】

- 授業で学習した内容を教科書等で振り返り、さらに調べてみたいことなどについて情報を収集したり、ノートに書き加えたりする。また、教科書の今後学習する部分を読み、疑問に思ったことをノートにメモしたり、教科書等で調べたりする。
- このほか、各学校で採用している補助教材の活用も考えられる。

【数学】

- 生徒の学習状況に応じて、教科書のまとめの問題に取り組み、これまでの学習内容の習熟を図ったり、教科書の発展的な問題に取り組み、これまでの学習内容について理解を一層深めたりする。
- このほか、各学校で採用している補助教材の活用も考えられる。

【理科】

- 学習した内容や自分の学び方を教科書やノート等で振り返り、気付いたことや今後調べてみたいことをノート等にまとめるなどして、学習内容についての理解を深めたり、新たな問題を見いだしたりする。

【保健体育】

○体育については、授業で学習した内容で、家庭でも安全に行うことができる運動を行ってみる（例：体を伸ばしたりほぐしたりする手軽な運動、リズムに乗って体を動かす運動、縄跳びなど用具を用いた運動、腕立て伏臥腕屈伸など力強い動きを高める運動 など）。また、オリンピック・パラリンピックを含め、スポーツの意義等について、教科書等を参考に考えたり、レポートにまとめたりする。

➤ 「体づくり運動」リーフレット（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/_icsFiles/afieldfile/2011/08/22/1306082_03.pdf

https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/jyujitsu/_icsFiles/afieldfile/2011/08/22/1306082_04.pdf

○保健については、教科書等を使って、授業で学習した内容を振り返ってみる。

➤ 健康な生活を送るために（高校生用）（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/08111805.htm

【芸術】

○音楽では、既習曲について復習したり、授業での学びを生かして、自分なりに表現を工夫して演奏したり、演奏に対する感想をノートに書いたりする。また、自分のお気に入りの音楽について、その音楽のよさや美しさなどに触れながら、その音楽の推薦文を書いてみる。その際、その音楽の特徴や背景などを理由に挙げるようにしてみる。

○美術では、教科書に載っている題材を家庭でできる範囲において自分なりに表現してみたり、身近なものを、多様な視点から見つめてスケッチやデッサンをしたりする。また、教科書に載っている作品などを鑑賞し、感じ取ったり、考えたりしたことをまとめてみる。

○工芸では、教科書に載っている題材を家庭でできる範囲において自分なりに制作してみたり、身近な工芸品などを、機能などに着目して多様な視点から見つめてスケッチをしたりする。また、教科書に載っている作品などを鑑賞し、感じ取ったり、考えたりしたことをまとめてみる。

○書道では、教科書に載っている古典等を家庭でできる範囲において臨書したり、古典等を踏まえた創作に取り組んだり、生活や社会の中で書の表現が生かされている書式等を工夫して表現したりする。また、教科書に載っている古典や作品を鑑賞し、感じ取ったり、考えたりしたことをまとめてみる。

【外国語】

- 教科書やえいごネット（英語教材等を掲載するポータルサイト）からダウンロードした、小・中・高等学校段階の、聞く・読む・話す・書くの各教材の活用を図る。
 - えいごネット（（一財）英語教育協議会）
<http://www.eigo-net.jp/>

【家庭】

- これまで学習したことを生かして、「ホームプロジェクト」として、ノート等にまとめてみる。

【情報】

- 授業で学習したことを生かして、ポスターやWebページを作成したり、家中の身近なことを解決するプログラムを作成したりする。
- 教科書を読み進めたり、インターネットで情報を検索することによって、将来の社会をイメージし、その社会で必要となる力とは何かを考えたり、まとめたりする。

【総合的な探究（学習）の時間】

- 学校で取り組んでいる課題を踏まえながら探究に取り組んだり、レポート等にまとめたりする。

【特別活動】

- 自ら生活や学習の目標や計画を立て、節度ある生活を送り、自己管理を行ってみる。
- 家庭等での役割について考え、自ら取り組むことを決めて実践してみる。

2. 専門教科・科目（職業教科）

【農業】

- 教科書や補助教材などを使って授業内容の振り返り学習を行うことで、理解した知識の定着を図る。
- これまでの実習等を振り返り、データの整理やまとめを行ったり、ホームプロジェクトに関するレポートを作成したりする。

【工業】

- 教科書や補助教材などを使って、これまでに学習した内容についてまとめ直

すなどして振り返り、新たな課題を見いだすとともに科学的な根拠に基づき解決策を考えてみる。

- これまでに提出した実習等のレポートなどを使って、新たに気づいたことから、課題を見い出すとともに科学的な根拠に基づき解決策を考えてみる。

【商業】

- 生徒の学習状況に応じて、教科書や補助教材の復習問題に取り組み、学習内容の振り返りを行ったり、新たな問題に挑戦し、習熟を図ったりすることにより、学習内容について理解の深化を図る。
- 学習内容で興味・関心の高いテーマを選定し、新聞、放送、インターネット等を活用して情報を入手し、レポートを作成するなど、主体的に考察したり、まとめたりする学習活動を行ってみる。

【水産】

- 教科書や補助教材などを使って授業内容の振り返り学習を行うことで、理解した知識の定着を図る。
- これまでの実習等を振り返りレポートを作成し、身に付けた技術の活用についてまとめたりする。

【家庭】

- 教科書等を使って授業内容の振り返り学習を行う。
- これまでの実習等を振り返り、データの整理やまとめを行ったり、学習したことを生かしてホームプロジェクトに関するレポートを作成したりする。

【看護】

- 教科書や補助教材などを使って授業内容の振り返り学習を行うことで、理解した知識の定着を図る。
- 実習レポート等の見直しによって学習の振り返りを行ってみる。また、社会や家庭生活において健康を保持するために必要なことについて、これまで学んだことや自分の経験、様々な媒体から得た情報などを活用しながら考察し可能なことについては自ら実践するとともに、医療者の役割について考えまとめたりする。

【情報】

- 教科書や補助教材などを使って授業内容の振り返り学習を行ったり、教科書を読み進め、インターネットや本などの情報もあわせて、将来の社会に必要な

力についてまとめたりする。

- プログラミングやデジタル作品の制作など、これまでの実習等を振り返って改善点を見出したり、新たなものを制作したりする。インターネットを介して互いに評価したり、協働して制作したりすることも考えられる。

【福祉】

- 教科書や補助教材などを使って授業内容の振り返り学習を行うことで、理解した知識の定着を図る。
- これまでの実習等を振り返りレポートを作成したり、介護記録をもとに介護過程の作成や実習目標・計画等についてまとめたりする。



(参考資料)

元文科初第1585号
令和2年2月28日

各都道府県・指定都市教育委員会教育長
各都道府県知事
附属学校を置く各国公立大学法人の長
各文部科学大臣所轄学校法人理事長 殿
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を
受けた各地方公共団体の長
厚生労働事務次官

文部科学事務次官
藤原 誠



(印影印刷)

新型コロナウイルス感染症対策のための小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校
等における一斉臨時休業について（通知）

新型コロナウイルス感染症への対応については、令和2年2月25日に決定した「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」（新型コロナウイルス感染症対策本部決定）等に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大の防止に取り組んでいるところです。文部科学省としても、同日、「児童生徒等に新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応について（第二報）」（令和2年2月25日事務連絡）において、学校の臨時休業の措置に関する方針等についてお知らせしたところです。

このたび、2月27日に開催された新型コロナウイルス感染症対策本部において、今がまさに感染の流行を早期に終息させるために極めて重要な時期であることを踏まえ、何よりも子供たちの健康・安全を第一に考え、多くの子供たちや教職員が、日常的に長時間集まることによる感染リスクに予め備える観点から、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校における全国一斉の臨時休業を要請する方針が内閣総理大臣より示されました。このことを受け、小学校（義務教育学校の前期課程を含む。）、中学校（義務教育学校の後期課程及び

中等教育学校の前期課程を含む。)、高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)、特別支援学校及び高等課程を置く専修学校の設置者におかれては、本年3月2日(月)から春季休業の開始日までの間、学校保健安全法(昭和33年法律第56号)第20条(同法第32条において専修学校に準用する場合を含む。)に基づく臨時休業を行うようお願いいたします。

なお、臨時休業の期間や形態については、地域や学校の実情を踏まえ、各学校の設置者において判断いただくことを妨げるものではありません。その際、卒業式などを実施する場合には、感染防止のための措置を講じたり、必要最小限の人数に限って開催したりする等の対応をとっていただくようお願いいたします。

臨時休業を行う場合における配慮として、下記の点に留意してください。

(保健管理に関すること)

- 1 新型コロナウイルスの感染の拡大を防止するための臨時休業の措置であるという趣旨を児童生徒に理解させ、人の集まる場所等への外出を避け、基本的に自宅で過ごすよう指導すること。
- 2 自宅においても、咳エチケットや手洗い等の感染症対策を行うよう指導すること。

(教育課程に関すること)

- 3 児童生徒が授業を十分受けることができないことによって、学習に著しい遅れが生じることのないよう、可能な限り、家庭学習を適切に課す等の必要な措置を講じるなど配慮すること。
- 4 児童生徒の各学年の課程の修了又は卒業の認定等に当たって、弾力的に対処し、その進級、進学等に不利益が生じないように配慮すること。なお、このたびの臨時休業により学校教育法施行規則に定める標準授業時数を踏まえて編成した教育課程の授業時数を下回った場合は、そのことのみをもって学校教育法施行規則に反するものとはされないこと。

(公立学校における教員の加配や学習指導員等の配置に関すること)

- 5 「児童生徒等に新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応について(第二報)」(令和2年2月25日事務連絡)で示したとおり、文部科学省としては、公立学校における教員の加配や学習指導員等の配置に必要な支援を各自治体の要望を踏まえることとしており、必要に応じて相談いただきたいこと。

(公立学校の教職員の出勤等の服務に関すること)

6 公立学校の教職員については、基本的には勤務することとなるが、教職員本人が罹患した場合には病気休暇等を取得させることや、教職員が濃厚接触者であるなど当該教職員が出勤することにより感染症が蔓延する恐れがある場合には在宅勤務や職務専念義務の免除により学校へ出勤させないようにすることなど、各地方公共団体の条例等にとり教職員の服務について適切な取扱いを行うこと。なお、教職員が勤務するに当たっては、在宅勤務や時差出勤を推進すること。また、教職員が学校へ出勤しない場合においては、在宅勤務や職務専念義務の免除等の措置の趣旨を踏まえること。

(障害のある幼児児童生徒に関すること)

7 特別支援学校等に在籍する障害のある幼児児童生徒(以下「幼児児童生徒」という。)には、保護者が仕事を休めない場合に自宅等で1人で過ごすことができない幼児児童生徒がいることも考えられることから、各教育委員会等においては福祉部局や福祉事業所と連携したうえで、地域の障害福祉サービス等も活用して、幼児児童生徒の居場所の確保に取り組むこと。

やむを得ず、福祉サービスの人員確保の問題等で幼児児童生徒の居場所を確保できない場合等、臨時休業措置をとれない場合は、多くの幼児児童生徒が同じ場所に長時間集まることのないよう、必要な対策を行ったうえで、必要最小限の人数に絞って登校させる等の特段の配慮を行うこと。

また、特別支援学校の寄宿舎については、基本的には学校に準じて休業するものと考えられるが、保護者が迎えに来られない場合等、個別の状況に応じて柔軟に対応すること。

(高等学校等の入学者選抜に関すること)

8 今後予定されている高等学校等の入学者選抜については、「高等学校入学者選抜等における新型コロナウイルス感染症への対応について(第2報)」(令和2年2月19日事務連絡)を踏まえ、都道府県保健衛生部局等と相談しつつ、試験会場の清掃やアルコール消毒、こまめな換気の実施、試験会場へのアルコール消毒液の設置、咳エチケットや手洗いの徹底など、感染防止の措置を講じた上で実施していただきたいこと。また、新型コロナウイルス感染症に感染し又は感染が疑われる者への受検機会を十分に確保する観点から、追試験の実施等の対応を検討していただくとともに、入学志願者や保護者に対する情報提供や相談対応に努めていただきたいこと。

なお、同本部において、臨時休業期間中の児童生徒等の監督者の確保等の保護者の負担等が生じないように、政府として責任を持って対応する旨の方針が示されたことを申し添えます。

都道府県・指定都市教育委員会におかれては所管の学校（高等課程を置く専修学校を含み、大学及び高等専門学校を除く。以下同じ。）及び城内の市区町村教育委員会に対して、都道府県私立学校主管部課におかれては所轄の学校法人等を通じて、その設置する学校に対して、国公立大学法人におかれてはその設置する附属学校に対して、文部科学大臣所轄学校法人におかれてはその設置する学校に対して、構造改革特別区域法（平成14年法律第189号）第12条第1項の認定を受けた地方公共団体の学校設置会社担当課におかれては所轄の学校設置会社及び学校に対して、厚生労働省におかれては所管の高等課程を置く専修学校に対して周知されるようにお願いします。

<本件連絡先>

文部科学省：03-5253-4111（代表）

○保健管理に関すること

初等中等教育局 健康教育・食育課（内2918）

○教育課程に関すること

初等中等教育局 教育課程課（内2367）

○公立学校における教員の加配や学習指導員等の配置に関すること

初等中等教育局 財務課（内2038）

○公立学校の教職員の出勤等の服務に関すること

初等中等教育局 財務課（内2588）

○障害のある幼児児童生徒に関すること

初等中等教育局 特別支援教育課（内3195）

○高等学校等の入学者選抜に関すること

初等中等教育局 児童生徒課（内3291）

○私立学校に関すること

高等教育局 私学部 私学行政課（内2532）

○国立大学附属学校に関すること

総合教育政策局 教育人材政策課（内3498）

○公立大学附属学校に関すること

高等教育局 大学振興課（内3370）

○専修学校に関すること

総合教育政策局 生涯学習推進課（内2939）